

アークフラッシュ施工された老人施設 6年間インフルエンザの発症が報告されていません。

< ** > <http://www.arc-flash.co.jp> **新着施工写真を更新いたしました**

本年も施設内感染で多くの命が失われております。

胃腸炎集団感染 女性2人が死亡 埼玉の特養ホーム

埼玉県川越市の特別養護老人ホーム「川越キングス・ガーデン」(児島康夫施設長)で感染性胃腸炎の集団感染が発生し、入所中の93歳の女性2人が死亡していたことが8日、分かった。女性2人は誤嚥(ごえん)性肺炎で亡くなっており、嘔吐(おうと)や下痢などの症状があったことから、ノロウイルスが原因の感染性胃腸炎が引き金になった可能性もあると見て、同市保健所が検便を実施し、原因の特定を急いでいる。

川越市保健所によると、川越キングス・ガーデンでは昨年12月26日から今月7日までに、入所者や職員ら計57人が感染性胃腸炎に感染。そのうち5人が現在も発症中という。同市は感染の拡大を防ぐため、通所サービスを中止させるなどの措置を取った。

ここにも感染が！！

日本ハム大学・社会人ドラフト希望枠ルーキー宮本賢投手(22 = 早大)が昨年12月にノロウイルスに感染し、危機的状況に陥っていたことが分かった。8日、千葉・鎌ヶ谷の「勇翔寮」に入寮し、闘病していたことを明かした。大学内に泊まり込みで卒業論文に取り組んでいたところ、嘔吐(おうと)などの症状が出て発覚した。「苦しくて何も食べられなかった」と体重が約4キロも減少。幸い入院までには至らず、投薬治療で2日ほどで回復。肉体的なダメージは少なく、早大の同僚の山本一徳投手(23)と元気な姿を日本ハム関係者に見せていた。

ここにも！！

奈良市保健所は6日、特別養護老人ホーム「平城園」(福田恵一施設長) = 奈良市秋篠町 = の入所者と職員計20人が感染性胃腸炎に集団感染し、うち4人の便からノロウイルスを検出した、と発表した。いずれも快方に向かっている。

先月30日から、入所者と職員が次々と嘔吐や下痢の症状を訴えていた

ノロウイルス:高齢者施設の29人感染 - - 峡南保健所管内 / 山梨

県健康増進課は6日、峡南保健所管内の高齢者福祉施設の入所者や職員計29人がノロウイルスによる感染性胃腸炎を発症したと発表した。全員軽症で、回復に向かっている。

同課によると、昨年12月27日から6日にかけて、21~97歳の入所者24人と職員5人がおう吐や下痢の症状を訴えた。入所者と職員、調理従事者の計7人を調査し、入所者と職員の計4人からノロウイルスを検出。同保健所は、給食を食べていない職員が発症していることなどから、集団食中毒ではないと断定した。

ノロウイルス：北秋田のホテルで8人感染 / 秋田

県健康推進課は6日、スキー競技の合宿で北秋田市内のホテルに宿泊中の県内外の中高生と指導者計18人が下痢や吐き気などの症状を訴え、ホテルの従業員1人を合わせた8人がノロウイルスに感染したと発表した。中学生ら3人が入院したが、全員快方に向かっており、7日にも退院する予定。ホテルは6日から8日まで自主休業する予定。中高生らが使用していたスキー場も消毒を実施する。

中高生らは4団体からなり、一部は3日から宿泊していた。詳しい感染源を調べている

無菌”の南極でレジオネラ菌繁殖…隊員に付着か

無菌状態に近い雪や氷を解かした水を使っている南極の浴槽にも、重い肺炎を引き起こすレジオネラ菌が繁殖していることが、日本の南極観測隊医療班の調査でわかった。酷寒の地での繁殖事例が確認されたことで、菌のしぶとさが浮かび上がった形だ。

レジオネラ菌は循環式浴槽など水が停滞する場所で増えやすく、抵抗力が弱い高齢者や乳幼児が感染すると、重い肺炎を発症して死亡する場合もある。水が貴重な南極では、浴槽はお湯をろ過して使う循環式を利用しており、衛生状態確認のため、医療班が1998～2003年に昭和基地とドームふじ基地の浴槽の水やフィルターなどを日本に持ち帰って調べた

ノロウイルス：入所者ら8人が感染 - - 福津市内の施設 / 福岡

県健康対策課は5日、福津市内のグループホームで、先月31日～1月3日に入所者7人、職員1人の計8人が下痢や吐き気の症状を訴え、ノロウイルスによる感染性胃腸炎に集団感染したとみられると発表した。7人は回復し、1人は回復傾向にあるという。

ノロウイルス：花巻の病院で5人から検出 / 岩手

県保健衛生課は5日、花巻市の病院でノロウイルスによる集団感染性胃腸炎が発生したと発表した。患者、職員37人が下痢や嘔吐(おうと)などを訴えたが、いずれも軽症で快方に向かっている。

同課によると発症したのは9歳未満から90歳代までの男女患者、職員37人。昨年12月27日から1月4日にかけて発生している。県環境保健研究センターが患者の便を検査したところ、5人からノロウイルスが検出された

ノロウイルス：3保健所管内で感染性胃腸炎113人 - - 苫小牧・帯広・渡島 / 北海道

苫小牧、帯広、渡島の各保健所は5日、管内の病院や介護施設で計113人がノロウイルスが原因とみられる感染性胃腸炎を発症したと発表した。全員が回復したか快方に向かっている。

苫小牧保健所管内では先月18～29日、20～90歳代の入院患者60人と20～60歳代の職員28人の計88人がおう吐や下痢などの症状を訴えた。このうち3人の便からノロウイルスが検出された。

帯広保健所管内では先月22～26日、介護保険施設の60～90歳代の利用者10人と20歳代の介護職員4人の計14人 渡島保健所管内では介護保険施設の入所者9人と職員2人の計11人が同様の症状を示した。

<<本部より>>

世の中ノロウイルスの感染記事が踊っております。

これにならない今後はインフルエンザの季節になります。

多くの老人施設では、インフルエンザの予防策が無策になりつつあり、先日訪問した施設では、少しは死んで交代が進まないと、施設の維持もできないなどとツイツイ本音が出てしまう世の中です。アークフラッシュは今までに日本の発展に寄与した老人に対して少しでも病気にならずに天寿を全うしていただくよう努力しております。

*** 発行責任者: 株式会社アークフラッシュ本部**

笹川 透

03-5337-7275 FAX 5337-7465 sasagawa@arc-flash.com

1号～60号までを配信希望の方はメールにて申込ください。